

■特別展関連イベント■

●特別展記念菌類学セミナー「もっとディープに変形菌」
きのことは似ているけどちょっと違う変形菌、変形菌の図鑑や入門書で活躍する川上新一さんにお話を伺います。

日 時:10月20日(土) 午後1時30分～3時30分
場 所:自然史博物館 講堂
講 師:川上新一氏 (和歌山県立自然博物館学芸員)
参 加 費 :無料 (博物館入館料必要)
お問合せ:植物研究室 佐久間
お申込み:不要

●ギャラリートーク
会期中、特別展を担当した学芸員が、毎回1つのトピックに絞って展示解説を行います。

日 時:10月13日 (土) ・20日 (土)
午後0時30分～1時
場 所:特別展会場 (自然史博物館 ネイチャーホール)
参 加 費 :無料 (特別展観覧料必要)
お問合せ:植物研究室 佐久間
お申込み:不要

■特別イベント■

●第19回 こどものためのジオ・カーニバル
私たちが暮らしている地球・宇宙のことをもっともっと知りたい人は「こどものためのジオ・カーニバル」に集合! 様々な工作や実験を通じて、自然のふしぎにふれてみませんか。

日 時:11月3日 (土・祝) 、4日 (日)
午前10時～午後4時30分
場 所:自然史博物館 ネイチャーホール
参 加 費 :無料(常設展見学には別途入館料が必要)
お問合せ:第四紀研究室 石井
お申込み:不要

●大阪府高等学校生徒生物研究発表会
大阪府内の高等学校の生徒の皆さんが、日頃取り組んでいる生物に関しての研究や活動について発表します。

日 時:11月23日 (金・祝) 午前10時～午後4時
場 所:自然史博物館 講堂
参 加 費 :無料 (博物館入館料必要)
お問合せ:動物研究室 石田
お申込み:不要

▽▲ 編集後記 ▲▽

今年の夏は、例年稀に見る酷暑でしたが、教員のみなさまはお元気に過ごされていたでしょうか? 夏休み中は、「教員のための博物館の日」や教員研修で、この暑さでも植物園に出て野外観察を行っていました。9月に入ってから、涼しい日も多くなり、すっかり過ごしやすい季節になりました。このくらいの気候であれば、暑さを気にせず活動できます。博物館では、TM通信に載せていない野外行事も行なっていますので、是非、HPもチェックしてご参加ください。(大江)

■植物園案内■

●植物園案内
植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

日 時:毎月第4土曜日 午後2時30分～4時
集 合:自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費 :無料 (植物園入園料必要)
お問合せ:植物研究室
お申込み:不要

●植物園案内・動物編 (11月) 「秋の羽根ひろい」
長居公園に立ち寄った鳥たちが落とした羽根を探します。秋の渡り鳥や到着したばかりの冬鳥の羽根をさがしましょう。

日 時:11月3日 (土・祝) 午前10時～12時 雨天中止
場 所:自然史博物館 本館
参 加 費 :無料 (博物館入館料必要)
お問合せ:動物研究室 和田
お申込み:不要

●植物園案内・動物編 (12月) 「ダンゴムシ・ワラジムシ」
植物園内の落ち葉の下や、博物館のまわりにかくれているダンゴムシやワラジムシをつかまえて観察します。

日 時:12月1日 (土) 午後2時～4時 雨天中止
集 合:自然史博物館 玄関前ポーチ
参 加 費 :無料 (植物園入園料必要)
持 ち 物 :容器 (フィルムケース、小ビンなど) 、
筆記用具、持っている人はルーペ
お問合せ:動物研究室の石田
お申込み:不要

■室内実習■

博物館に備え付けの研究機器を活用して、分析的な観察・実習をおこないます。

●樹脂封入標本を作ろう
透明な樹脂(プラスチック)の中に好きな標本を入れて樹脂封入標本を作ってみましょう。ご家庭でも簡単に作れる方法をお教えます。

日 時:12月2日 (日) 午前10時～午後3時30分頃
場 所:自然史博物館 実習室
定 員:24名 (申込み多数の場合は抽選)
参 加 費 :材料費などを含め500円程度を予定
お問合せ:動物研究室の松井
お申込み:必要<締切11月17日 (土) >



Teachers - Museum

通信2018 No.2

2018/10/
編集・発行:大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実してます)
e-mail:tm@mus-nh.city.osaka.jp

※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきたいと思います。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■11月17日(土)・18日(日)に大阪自然史フェスティバル2018を開催します ※関西文化の日のため、入館料無料! ■

大阪自然史フェスティバルは、自然や生き物、環境に関する団体やサークルなど100団体以上が、日頃の研究や活動の成果を発表したり、ワークショップを実施したりする、自然科学の文化祭です。

また、毎年おなじみの日本野鳥の会によるバードウォッチングや、自然史博物館友の会による自然観察会も行います。これらは長居植物園内・自然史博物館の周辺で行いますので、学校の周りでも実践できそうな生き物の観察ができるかもしれません。

他にも、野鳥や水生生物など、さまざまな研究者や専門家による講演会や、生き物の市民調査に関するシンポジウムも行います。専門家や出展団体のみなさんとも交流しながら、身近な自然や生き物のことを知ったり考えたりしてみませんか?

講習会や講演会などのプログラムは予約不要で当日受付です(定員があるものは先着順)。大阪自然史フェスティバルHPで詳細をご確認のうえ、是非ご参加下さい。(HPは10月中旬に公開予定です。)



▲過去の大阪自然史フェスティバルでのブース展示の様子

開催概要

1. 名称:「大阪自然史フェスティバル2018」

2. 期間:平成30年11月17日(土)、11月18日(日)

3. 会場:大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23(長居公園内)
TEL:06-6697-6221 FAX:06-6697-6225
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m

4. 入場料 :無料 ※11月17日(土)・11月18日(日)ともに「関西文化の日」のため、博物館入館料も無料となります。

5. 開催時間:9時30分から16時30分(ただし両日とも入館は16時まで)

6. 開催内容:◆ブース展示(両日とも開催)
出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。
◆ワークショップ・講習会(両日とも開催)
様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。
そのほか、講演会などさまざまなプログラムが行われる予定です。
※詳しい内容はHP・チラシ等でご確認の上、ご参加下さい

7. ホームページ:http://www.omnh.net/npo/fes/2018/

■「教員のための博物館の日2018」実施のご報告■

8月8日(水)に、「教員のための博物館の日2018」を実施しました。教員の皆様の他にも、教育に関わる企業の方や大学生など、117名の参加がありました。

今回は、幼児教育に関わる教員の方々を対象としたプログラムも、いくつか行ないました。子どもワークショップ「リュウグウノツカイ」を体験していただいたり、「ナウマンゾウの紙芝居」をはじめとする貸出資料の紹介で、難しいと思われるがちな博物館の展示も、小さな子ども達にも楽しんでもらえる素材やツールがあるということを知っていただけたのではないのでしょうか。

また、一昨年から恒例になっている、自然史博物館以外の施設のプログラムでは、科学館の「ブーメランのひみつ」、きしわだ自然資料館の「チリメンモンスター」、天王寺動物園の獣医師による「動物園の見方」を行いました。ブース展示でも、他の博物館施設のスタッフの方々と交流したり、それぞれの学校・教育向けの取り組みを知ることができたのではないかと思います。

参加者のみなさんは、学芸員の話を知ったり、実際に先生たちご自身で体験しながら学んだりされていました。展示見学以外にも、貸出資料や学芸員への質問、行事への参加等、博物館の活用の仕方はたくさんあります。「教員のための博物館の日」を通して、これからの学校・園での活動へのヒントにしていただけたら、幸いです。



▲大阪市立科学館のプログラム「ブーメランのひみつ」



▲子どもワークショップ「リュウグウノツカイ」でリュウグウノツカイ絵巻物を作ってもらいました。

■テーマ展示「ジュニア自由研究・標本ギャラリー」を開催します■

自然史博物館は、小・中学生、高校生のみなさんの自由研究や標本作りを応援しています。児童・生徒の皆さんが作った生き物や岩石・化石の標本、および生物・地学分野の自由研究を展示します。

また、展示する研究の成果物や標本も募集しています。児童・生徒のみなさまにもお知らせください。応募は11月24日(土)まで。下記の要領でご応募ください。

- 対象：小学生・中学生・高校生による、生き物や岩石・化石の標本、および生物・地学分野の自由研究
- 提出形態：実際につくった標本、模造紙や冊子にまとめた研究成果、またはつくったものを撮影した写真
- 提出方法：作品に、住所、氏名、学年、連絡先(電話番号またはメールアドレス)、自由研究のタイトル、作品の返却方法(博物館に来て直接受け取る、または着払いで郵送)を明記の上、以下の方法でお持ち下さい。

(1)自然史博物館に直接持ってくる

※月曜休館、月曜が休日の場合は翌日が休館日です

(2)郵送 (送り先:〒546-0034大阪市東住吉区

長居公園1-23 大阪市立自然史博物館「ジュニア自由研究・標本ギャラリー」係宛)

●問合せ：大阪市立自然史博物館 地史研究室・田中 (TEL.06-6697-6221)

■開催概要■

会 期：平成30年12月15日(土)～平成31年1月27日(日)
※毎週月曜日、12月28日～1月4日、
及び1月15日は休館(ただし1月14日は開館)
開館時間：9:30～16:30(最終入場は16:00まで)
会 場：自然史博物館 本館
入 場 料：無料(博物館入館料必要)

■ 行事案内 ■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックして、ご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

大阪市立自然史博物館 普及係

ホームページ:

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■ジオラボ■

化石や岩石、鉱物、地層等について簡単な実験や観察を行いながら学ぶことができます。

●ザトウクジラになろう！ 大阪の地下からみつかったクジラ

大阪の地下からザトウクジラの化石が見つかりました。ザトウクジラになったつもりで進めている新しい研究と、ザトウクジラの変わった泳ぎ方を紹介します。あなたもザトウクジラになってみませんか。

日 時：11月10日(土)午後2時30分～3時30分
場 所：自然史博物館 ミュージアムサービスセンター
参 加 費：無料(博物館入館料必要)
お問合せ：地史研究室の田中
お申込み：不要

●防災地図を作ってみよう

洪水や津波、地震の揺れや土砂崩れなどの危険地域を示した地図を防災地図やハザードマップと呼びます。各市町村で防災地図が出されていますが、地形図を読み取ることで、大まかにそれらの災害の及ぶ範囲を知ることができます。今回は地形図から平野の標高を調べ、洪水で浸水するかもしれない場所を調べてみましょう。

日 時：12月8日(土)午後2時30分～3時30分
場 所：自然史博物館 ミュージアムサービスセンター
持 ち 物：色鉛筆・筆記具
参 加 費：無料(博物館入館料必要)
お問合せ：第四紀研究室の中条
お申込み：不要

■学芸員によるリレーコラム③■ 今号は植物研究室の長谷川 匡弘 学芸員です。

～「サクラの花は何時に咲きますか？」～

今年の春にいただいた質問で回答に困ったものがありました。「サクラの花は何時ごろ咲きますか？」というものです。花が開く時刻は植物にとっては結構重要で、普通はその植物にとって、効率的に花粉を運んでくれる動物が多い時間帯に開き始めるはずです。開いたばかりの花は花粉が最も多く、そのタイミングで動物に来てもらったほうがより多くの花粉を運んでもらえるからです。開花する時期はよく調べられていますが、いつ花が開きだすのかという「時刻」は気にしたことがありませんでした。考えてみると結構複雑で、サクラといっても種類によって開花時刻が異なるかもしれませんし、どこでも植えられているソメイヨシノはオオシマザクラとエドヒガンから作出されたと考えられており、この両親の特徴を受け継いでいるかもしれません。結局、私も気になるので来年春に調べてみます、とだけお答えしました。

時々、学校の先生や生徒さんから何か一つのテーマを調べてみたいのだけど、何を調べてよいかわからない、遠くに行く時間もお金もないし…という相談を受けることがあります。何を調べるか…というのは、自分で見つけないといけません、調べる場所は学校の敷地内や、公園で十分です。身の回りに見られる植物や動物は、図鑑もたくさん出ています。何でもわかっていると思われるかもしれませんが、サクラの開花時刻の例のように、実際はわからないことだらけです。ふと思いついた単純な疑問でも意外と調べられていないものです。勇気をもって自分たちで計画を立てて調べてみましょう。こんなことを調べてみたいけど、すでに分かっていることを知りたい、または調査する方法がわからない、という場合は、ぜひ博物館の学芸員までお問い合わせください。

私は今、サクラの花が咲く季節を楽しみにしながら調査計画を練っているところです。



▲シダレザクラに来たニホンミツバチ。花が開いているのはよく目につくが、開き始める瞬間を見るのはなかなか難しい。